

令和4年度事務事業改革・改善の総合的な推進について

1 令和4年度事務事業改革・改善（事務事業棚卸）の概要

事務事業の見直しを行うことで経常経費の圧縮を図ること、また、事業の選択と集中により真に必要な事業を絞り込むことで、財源配分の合理化を図り、計画的かつ効率的な行財政運営を推進するため、令和3年度から実施している事務事業棚卸について、令和4年度の実施結果を報告する。

令和4年度は、令和3年度に事務事業棚卸をしなかった400の中事業のうち、法定受託事務等のため市の裁量では事業内容が変更できず、事務事業棚卸での見直しが適さないなどの138の中事業を対象外として、262の中事業の事務事業棚卸を実施した。

2 事務事業棚卸の結果概要

- ・令和4年度対象事業数 中事業(※)：262、事務事業：266
- ・「総合評価結果」は事務事業棚卸による評価結果であり、今後の事業の在り方を検討する上での方向性を示す。詳細は、別紙「令和4年度事務事業棚卸結果一覧」に記載

総合評価結果	事務事業数
廃止・縮小	19
改善	62
継続	185
合計	266

※事業を行うために予算を組む際の最小単位。中事業には複数の事務事業が含まれる場合がある。

3 事務事業棚卸結果に基づく今後の対応

本報告書で「廃止・縮小」等の総合評価結果となった事務事業については、今後、評価結果を踏まえた検討を行い、関係者との丁寧な協議・調整を経て、事業の在り方に反映させる。

なお、令和3年度及び4年度の事務事業棚卸により、対象外とした138の中事業を除く全ての中事業に対して総合評価結果を出した。このため、今後は事務事業棚卸の総合評価結果に基づく事業見直しの進捗管理を行う。

令和5年度以降は、事業の成果の向上や改革・改善を図るため、第2次那須塩原市総合計画後期基本計画で示したとおり、行政評価に取り組んでいく。